



⚠ 災害に便乗した悪質商法のトラブルにご注意！

詳しくは
こちら ▶



大雨等の災害発生後は、被災者の不安や焦りにつけ込み、悪質商法が増加する傾向にあります。住宅の修理や改修の際は、十分ご注意ください。

損害保険金などを口実にした勧誘

「保険金を使って自己負担なく住宅修理ができる」などと勧誘されてもすぐに契約せず、加入先の保険会社や保険代理店に相談しましょう。

住宅修理などの点検商法

突然の訪問勧誘には、その場で契約せず、修理などを行う場合は、複数の事業者から見積もりを取り、内容をよく確認して契約しましょう。



千葉豪雨で被災された方々への各種支援制度や手続きのご案内はこちらをご確認ください。

■ 罹災・被災証明書の発行 ■ 経済的な支援 ■ 住まい・生活の支援 など

その伝え方、大丈夫？「カスタマーハラスメント」を考えよう

近年、顧客による過剰な要求や理不尽な言動による「カスタマーハラスメント(カスハラ)」が深刻な社会問題になっています。令和8年10月からは、すべての事業者にカスハラを防止するための措置を講じることが義務付けられました。

【事例1】威圧的な言動



大声で責める等

【事例2】継続的な、執拗な言動



頻繁なクレーム、同じ質問を繰り返す等

これらは、苦情の範囲を超えたカスハラに該当します。一方で、商品やサービスに不満があるときに、正当な意見や要望を伝えることは、決して悪いことではありません。

大切なのは「伝え方」です。

「消費者が意見を伝える」際のポイント

- ひと呼吸、置こう！
- 言いたいこと、要求したいことを「明確に」そして「理由」を丁寧に伝えましょう！
- 事業者の説明も聞きましょう！

商品・サービスの契約トラブルは消費生活センターへ

消費者ホットライン(全国共通) ☎ 188(いやや)

(原則として、最寄りの消費生活センター等の消費生活相談窓口を案内します)

千葉市消費生活センター直通:043-207-3000

音声コード「Uni-Voice」をスマートフォン専用アプリなどで読み取ると、音声で内容が確認できます。

